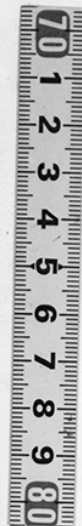


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

明治元年吐寺繪法

野州郡賀部所野村



經濟學部
研究室
5Z
2143

東大
5
21

社寺籍法

55267

大政維新四方

皇威王仰之時天下無不稱之

齊民之脫藩浮浪之輩弘復舊

之服先達^多涉沙汰之有哉之

人藉明瞭^多之^多之^多不在藩

向後社籍^多戶之^多之^多下^多編制

一 籍之仕立及法紙より形式用ひ
上より一之處（墨箱と門金）
一 社籍を墨箱と氏祭神社地
社領米社本と記し下と社名
人名記生ある記を以てす金
一 寺籍を墨箱と氏佛石

寺化寺領米寺本と記し下と
寺号傍石記生ある記し法
とす金

一 家来と一字下ケし〜〜家
の次記す金
一 任職等々祿領地本之増減

妻子縁組其外其成く無流之
記を金一始書く書記
と云紙改子ふれ字と云く
其後又是と改るく書字
と云く金一始書く地
家縁有るく石衣の上

何年何月何日何何某
嫁と云書字く記一石衣
墨点と云く不縁く帰る
其来字く何年何月
何日不縁く何と云く
家前之書字と云く

一六〇年上終く是との籍を
其後細先至改く新籍を編
不角！
右之仕法を早く編製せ
後年改り柳不可也

日光縣廳

何社 神主

明治元辰何姓何某

妻 なに

明治元辰何某

明治元辰何某 男子 何某

女子

明治元辰何某 かに

一 何家何仲

一 何氏何氏

一 高何石

但何那何村何

社領

一 陰何氏

一 末社何社

四

義社何野中

一
中
考
作
佛

一高何石

但何郡何村之月

何之北寺傾

一境曰山林何之化

裁

一 陸地栽培

一未寺何寺

四

教子下野國中

何王何郡何村
何產何道何物
何村何寺
何子何人何年
何月何日何歲

子何年何月住藏

何村何年何月何日

河村銀谷 何邪何村産何何年何月
得度

潯

何王何郡何村產何何年何月何日

何

何山何寺

佐將

何集

孝

何某

晁

何来

日心者

何々

明治元辰何集

明治元辰何某

明治元辰何某

明治元辰何某

一
何地何人

何處何鄉何村何日某漢某何年何月
再舉

家来
何姓何来
子来
小江

个儿

何某

何月是代何果養子不入

明倫彙編
行姓行錄

一
何足道哉

明治三十九年

書
に

明治元辰抄本
下に

一印堂竹佛

一 何等何地

一境內森然之地

裁評

一、降化剂

一末寺何寺

藏寺下野寺

何處鄉何處何處何村何寺
何處何處何處何處何處

明治元辰竹呈

何景何山何寺來

任職

李何集

何日親舍沙那何村幾何年何月何日

明治元辰何某

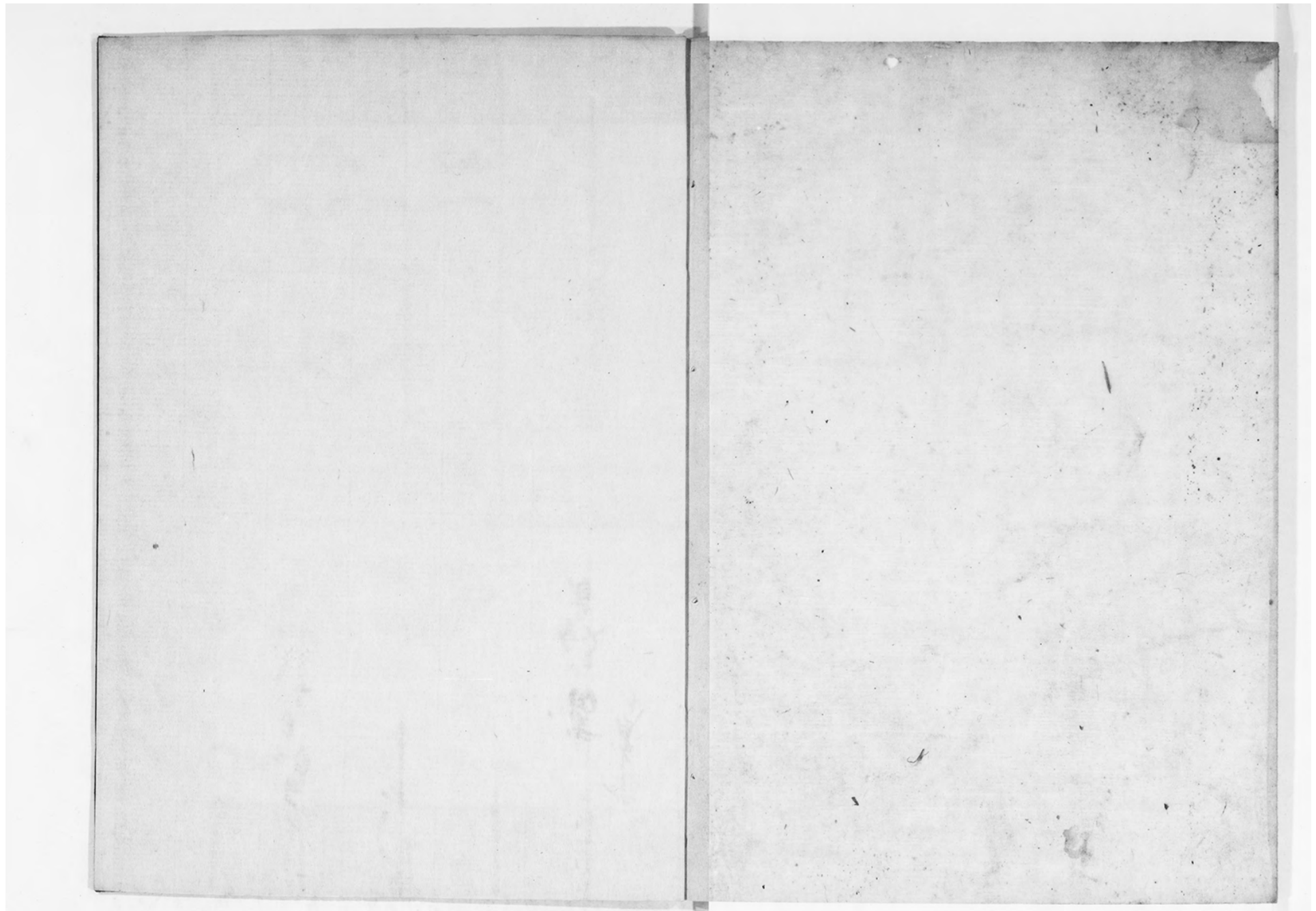
何年何月何日何郡何村何寺（何處）

日知者

何孟河郡河村人何年何月年

明倫彙編

何



経済

Z

3